

エレベータ、リフトを起因物とする墜落・転落の死亡災害発生事例（1999-2021年）

発生年	発生月	発生時間	死傷災害発生事例	小業種コード	労働者規模
2021	8	10 ～ 12	店舗の2階（事務所兼倉庫）から1階（売り場）に移動するため、荷物用エレベーター（積載荷重3 t）の2階出入口の扉を開けて、乗り込もうとしたところ、当階に搬器がなく、そのまま約5メートル下の1階の搬器上に墜落したものの。	80209	10 ～ 29
2021	11	10 ～ 12	荷物用油圧間接式エレベーターの更新工事において、3階建屋側ドアの調整作業をエレベーター搬器上のフレーム枠に乗り行っていたところ、搬器横の開口部（1.0 m×1.5 m）からエレベーターピットまで約16 m墜落した。	30302	1～ 9
2020	5	12 ～ 14	火力発電所の定期検査にて使用する人荷用エレベーターが1階から1.35 m上昇して停止したため、被災者が単独で脚立を使用し、脚立若しくはエレベーター柵に足を掛けて停止したエレベーターの搬器の扉にもたれて確認していたところ、突然、エレベーターが上昇したため、被災者は、支えを失い墜落した。	30309	1～ 9
2019	12	～ 4	構内での部材・製品・原材料の運搬等を請け負っている業者の労働者が、3階の垂直搬送機の開口部（昇降路）から、1階に降りていた搬器（キャレツジ）まで約9 m墜落。垂直搬送機の搬入部分には安全柵と光線式のセンサーが、開口部の手前には自動開閉のシャッターが設けられている。垂直搬送機の運転は自動化されているが、手動に切り替えての操作も可能。	10801	30 ～ 49
2017	2	18 ～	店舗内において、被災者がソファ約20脚を、エレベータに載せ、2階に搬入する作業を行っていた。最初に4つのソファを1階でエレベータに積	80209	10 ～

		19	み込み、2階でソファを3脚下ろし、4脚目のソファを下ろす際、1階の搬入口側の搬器の開口から約5 m下の床面に被災者が墜落して死亡した。		29
2017	10	12 ～ 13	被災者は、工場1階エレベーター出入口内に停止しているエレベーター搬器上で倒れている状態で発見され、病院搬送後間もなく脳挫傷により死亡した。被災者は、工場2階エレベーター出入口から製品の入った段ボール箱をエレベーター搬器に載せようとした際、搬器が工場1階に停止していることに気付かず、誤って3.7 m下の搬器上に墜落したものと推定される。	10602	～ 29
2017	10	22 ～ 23	被災者は工場3階にて、1人で食品サンプルの整理を行っていた。被災者が終業時間を過ぎても職場に戻って来ないため、同僚らが探したところエレベーターピット内で倒れているのを発見した。当該エレベーター昇降路の3階扉が開いたままで、搬器が1階に停止した状態であったことから、3階の開いた扉から8 m下のピット内に墜落したと思われる。	10109	～ 29
2016	4	22 ～ 23	被災者は、加工場の1階でエレベーターの搬器上に脚立をたて、壁につり下げられていたドリルを取り、脚立から搬器上に降りたところ、搬器を電動チェーンブロックで吊っていた鋼材の溶接部が外れ、搬器とともに地下1階まで墜落し被災した。	30209	1～ 9
2016	8	15 ～ 16	マンション新築工事現場において、ロングスパン工事用エレベーターを使用して、13階に上がったところ、ロングスパン工事用エレベーターの床先と躯体との間隔が48 cm開いていたため、その部分から約3.8 m下の1階の地面に墜落した。	30201	1～ 9
2015	3	14 ～ 15	倉庫内2階にて、製品を梱包した箱を台車に乗せてエレベーターで1階まで移動させようとエレベーターの扉を開けたところ、搬器が3階にあったため、前方開口部から台車ごと1階エレベーターピットに墜落し（高さ4.3メートル）、死亡したものの。	80109	10 ～ 29
2015	5	5 ～ 6	被災者が工場2階において製造したパンが入れられたラックを荷物用エレベーターを使用し1階に移動させようとしたところ、当該エレベーターの2階昇降路開口部から4.07 m下の1階に墜落したものの。災害発生後から意識不明状態が続き、平成27年5月22日14:00に死亡。	10104	30 ～ 49

2014	3	8 ～ 9	工場2階にある簡易リフトにスポットクーラーを積み込む作業をしていたところ、簡易リフトが吊り具から外れ、落下。はずみで被災者が体勢を崩し、昇降路から1階へ墜落した。	10609	1～ 9
2014	6	9 ～ 10	弁当の宅配中、エレベーターを使用し弁当を運搬していた際、2階へ上げた弁当をエレベーターから運びだそうとしたところ、エレベーターの搬器に囲いがなく、エレベーターの搬器床面と昇降路壁との間の開口部から1階へ転落した。	80209	30 ～ 49
2013	9	14 ～ 15	被災者は、染色した生地を載せる空の台車を、工場の北側にあるエレベーターで3階から1階に下ろす作業中、3階のエレベーターの入り口（高さ6.4m）から墜落した。尚、エレベーターには戸があり、本来安全装置により戸は10cmほどしか開かないが、当該安全装置は容易に解除が可能であり、解除することで、戸は完全に開くことが可能であった。	10204	30 ～ 49
2012	3	15 ～ 16	被災者は1階にある操作盤により、2階に停止中の荷物用昇降機を作動させたところ、不具合により2階から1階へ搬器が降りてこなかった。被災者は点検を行うため2階から搬器へ乗り点検を行っていたところ、突然に搬器が落下したため、1階へ墜落した。	10602	10 ～ 29
2012	2	10 ～ 11	被災者は業務用エレベーターを使用して1階から地下部分に椅子を運搬する作業を行っていたが、エレベーター昇降路内（地下1階部分）で倒れているのを発見され、救急搬送先の病院にて死亡が確認された。	150101	100 ～ 299
2012	3	13 ～ 14	エレベーターの改修工事中、搬器上の配線作業の必要上搬器上部が3Fフロアから約30センチ、搬器下部を2Fフロアから約1.5m上部にある状態で搬器を止めて3Fのフロア上の作業者と搬器上の作業者2名で同配線作業を行っていた際、2Fのフロアのエレベーター前で計器（押しボタン）の交換を行っていた作業者が、扉を約30cmほどあけた状態で固定したため、開口状態となった昇降路から墜落した。	30302	1～ 9
2011	5	14 ～	荷物用エレベーターの定期補修において、ワイヤーロープの交換作業を3名で搬器上で行っていた。5本のワイヤーロープのうち2本が終了し、3本目の作業を行っていた際に搬器上から約3.5m下のカウンターウェイト上に墜	30302	30 ～

		15	落し、死亡したもの。		49
2009	10	11 ～ 12	被災者は、生コンクリート製造工程における混和剤の計量及びそのミキサーへの投入のために、バッチャープラント建屋4階（約11m）まで、荷用エレベーターの搬器に搭乗し上昇中、搬器をつっていた巻き上げ装置のフックが当該搬器から外れたため、約11m下の地上へ、搬器とともに落下した。	10901	1～ 9
2009	2	13 ～ 14	被災者は荷物用エレベーターでダンボール15箱を2階から1階に降ろそうとしていた。その際に2階の乗り場から墜落して、搬器と昇降路の間にはさまれた。発見時、2階の乗り場ドアは開いた状態でダンボールを乗せたハンドリフトが乗り場ドアに引っかかった状態で搬器上にダンボール2箱が落ちていた。搬器は2階乗り場から4.15m下の位置で停止していた。エレベーターは間口1700mm、奥行1700mm、高さ1800mmであった。	10104	100 ～ 299
2009	10	11 ～ 12	被災者はオイル交換のため工場内のカーリフト上に置いてあった乗用車の扉を開け、カーリフトに足をかけ乗用車内の書類を探していたが、サービスマンが被災者を乗せたまま乗用車を1.3mリフトアップし、オイル交換作業を行おうとしたところ、被災者は、カーリフトを踏み外し床面に仰向けに転落した。	80202	10 ～ 29
2008	3	7 ～ 8	病院の5階にある調理場の食材を運搬する簡易リフト（取り入れ口双方向型、搬器には扉なし）において、5階にいた被災者（調理補助者）がリフトを開けたところ、予定の食材が5階リフト停止位置より約1m下方の梁に落ちていた。被災者はそれを取るためにリフト搬器内を通り梁の上に移動しようとしたところ、昇降路内（約15m）に墜落した。	130101	100 ～ 299
2008	10	14 ～ 15	エレベーターの点検を行うに当たり、4階に停止していた搬器に乗り込むために2階から付近の階段を使って4階へ向かった被災者が、搬器のない3階でエレベーター外扉を開放したため、18.4m下のエレベーターピット床面に墜落した。	170209	1～ 9
2008	1	20	被災者は、運搬用リフトを用いて2階から翌日配達分のクリーニング後の衣料をトラックに積み込む作業を行っていた。1階の搬出口から台車とともにリフ	11703	10 ～

		21	トに乗り込み、上昇中または2階に到着後に墜落した。		29
2008	5	10 ～ 11	工事用エレベーターの解体作業を被災者を含め4名で行っていた。躯体4階付近のガイドレール1柱（高さ1.5m）を解体して工事用エレベーターの搬器の上に取り付けたクレーン（つり上荷重0.25t）でつり搬器を1階まで下ろした。その時、被災者だけが4階ガイドレールの壁つなぎ上に残り、次のガイドレールを解体する準備をしていた際、昇降路の隙間から地下3階まで22m墜落した。安全帯は着用していたが使用していなかった。	30201	10 ～ 29
2008	7	14 ～ 15	作業者が貯氷室の床に倒れているのを同僚に発見された。なお、積み上げられた氷又は簡易リフトから転落していた。	10102	10 ～ 29
2007	6	13 ～ 14	建具材を屋上から1階へエレベーターで降ろしているとき、エレベーター内で建具材がずれ、搬器と昇降路の壁の間にはさまり搬器が停止したので、屋上の扉を開け搬器の上に乗し、はさまった建具材を引き抜いたところ、搬器がワイヤロープのたるみの分落下しその衝撃でワイヤロープが切断、搬器と共に1階まで約6m落下した。	10503	10 ～ 29
2007	1	10 ～ 11	工場棟に設置されたエレベーターを使用して、1階から3階へ使用済パレットを搬送し、3階から階下に移動しようと同エレベーターに乗り込んだところ、同エレベーターの床面が抜けて7.9m下の1階ピット部分に墜落した。	11209	10 ～ 29
2007	4	4 ～ 5	トラックに積んでいるかご台車を簡易リフター（手押し式）に乗せる作業中に、リフターの安全柵の開閉式ストッパーがロックされていないため、かご台車ごと墜落し、かご台車の下敷きになった。	40301	10 ～ 29
2007	12	15 ～ 16	被災者は、事業場中2階（2階と3階の間）のバルコニーで冷暖房機の解体作業中、中2階のエレベーター出入口から、約m下の昇降路1階に墜落した。	80209	1～ 9
2007	7	14 ～	エレベーター改修工事において、被災者は、昇降路2階出入口から、ピットの緩衝装置に保持されている搬器の床の上に、墜落（墜落高さ355cm）した。改修工事に伴い、搬器の囲い（天井と壁）は取り外されていた状態で	30302	1～ 9

		15	あった。		
2006	8	9 ～ 10	雑居ビル内にある店舗の改修工事において、被災者が建物に設置してあるエレベーター（積載荷重1トン・15人乗り）を使用して1階より5階へ、ベニヤ板等の資材を搬入していたとき、5階部分エレベーターホールから地下1階部分のピットまで昇降路内を墜落した。	30209	1～ 9
2005	2	16 ～ 17	13階建てアパートのエレベーター改修工事において、エレベーターの搬器の天井部分に乗って、エレベーターの昇降路内の配線工事を行っていたところ、当該搬器をつっていた電動チェーンブロックのつりチェーンが破断して、搬器ごとピットまで30m墜落した。	30302	10 ～ 29
2005	12	16 ～ 17	ボール紙を荷揚設備にて、荷降ろし中に荷揚装置脇の開口部から3.6m下の1階床に墜落した。	10602	10 ～ 29
2005	11	14 ～ 15	マンション新築工事において、3階フロアでリフトにより上げられた額縁材の運搬作業を行っていたところ、リフト荷台下の地面に転落した。	30209	10 ～ 29
2003	12	8 ～ 9	ダンボールの納品作業で、納品場所である2階からエレベーターに乗って1階へ行くためエレベーター昇降路出入口の扉（手動で開閉）を開けて進んだところ、安全装置が作動せず扉が開き2階の戸の位置にあるはずの搬器がなかったため昇降路内を5m下のピットまで墜落した。	10602	30 ～ 49
2003	12	8 ～ 9	常駐警備員が立体駐車場の入庫車を搬器に乗り込んで誘導しているときに、搬器の隙間から地下3階まで約15m墜落した。	150101	10 ～ 29
2003	3	13 ～ 14	マンションのエレベーター昇降路等の補修工事において、2階に搬器を停止させ、搬器上部に敷設した作業板および搬入口奥の単管足場に設けた作業板を作業床として昇降路の内壁を塗装しているときに、突然、搬器が上昇したためバランスを崩してピットに墜落した。	30309	1～ 9
		10	地下駐車場を式場に改修する工事において、1階から自動車用油圧式エレベーター		

2003	2	～	ターで家具を積み込む作業中、エレベーター搬器の端部と軀（く）体とのすき間（35cm）から約6.5m下の地下ピットに墜落した。	30209	1～ 9
2002	11	0 ～ 1	量販店に荷物を納入するため3階の荷物用エレベーター前まで一人で荷を運んでいたときに、突然大きな音が聞こえたので同じフロアにいた部長がエレベーター前まで見に行ったところ、エレベーターの扉が開いていてピットの底に荷物とともに倒れているのを発見した。	80109	1～ 9
2002	2	～	倉庫1階の物上げ装置荷台に載っていた製品を2階に上げるため、物上げ装置の荷台に乗って製品を運んでいたところ、物上げ装置を吊っていたワイヤーロープが結束部から抜けたため、荷台とともに3.9m下の1階に墜落した。	10899	10 ～ 29
2002	1	～	立体駐車場（18階建て、高さ31m）の搬器（左右17段）の点検作業のため、作業員4名が搬器（2×4m）に乗り込み最上階（18階）へリフトアップしたところ、上限リミッタスイッチが効かずにチェーンの結束金具がめり込んだので吊り金具を外そうとしたときに、4個所のうち3個所の金具が突然外れて搬器が傾き、1名が開口部（2×2m）から31m下の地面に墜落した。	170209	1～ 9
2001	10	13 ～ 14	ラック式工事用エレベーター（積載荷重2t、定員30名）に26人を乗せて2階から20階へ上昇中、4階を経過した時点でエレベーターの内扉が全開したため、扉の前に立っていた者が搬器の外へ投げ出され、エレベーターシャフト地下2階床（約20m下）に墜落した。	30201	30 ～ 49
2001	11	～	工事用エレベーター（2.8t）の延長部分の垂直養生取付け作業をシャフト内の20階付近の壁つなぎ上で作業中に、3階にあったエレベーター搬器が下方に動き出したため19階付近にあったカウンターウェイトが上昇し、20階付近のトラスにかけていた作業者の安全帯ロープを切断したため、地下2階まで約96m墜落した。	30201	10 ～ 29
2001	3	～	エレベーターの故障修理のため、3階に停止したエレベーターの点検口から搬器上に上ったときに、搬器と昇降路壁との隙間（幅1.3m、奥行38cm）からエレベーターピット底まで（約12.7m）墜落した。	11301	1～ 9
		15	イベント場の駐車場の自動車用エレベーターの搬器上に進入してきた乗用車		10

2001	4	～	の誘導を行っていて、建屋内壁と搬器端との50cmの隙間から約10m下の地下	150101	～
		16	ピットに墜落した。		29
2000	9	～	落雷で停電したエレベーターの復旧作業中に、立ち会っていた建物設備管理	150101	100
		15	会社の作業員がエレベーターシャフト内を覗き込んでいてバランスを崩して		～
		16	中にエレベーターシャフト内に墜落し、エレベーター搬器上部に頭部を強打		299
			した。		
2000	7	～	立坑工事現場で工事用エレベーター近くのH鋼の上で溶接作業を行なっていて	30199	30
		18	墜落した。		～
		19			49
1999	10	～	製品倉庫で出荷の準備をしていて、1階エレベーター前の床面で頭部より血を	80101	10
		8	流して倒れているのを同僚に発見された。		～
		9			29
1999	2	～	ロングスパン工事用エレベーターのガイドレールを継ぎ足すため、足場上で	30201	1～
		16	エレベーターのストッパーレールを引き上げ足場上に仮置きしたときにス		9
		17	トッパーレールとともに墜落した。		

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pg/SIB\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202210\\_31.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202210_31.html)に戻る。